

2024年11月14日

各位

株式会社北洋銀行

北海道産農畜産物の消費拡大に向けた取組みについて -消費拡大を通じて持続可能な農業の推進等に取り組みます-

株式会社北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、北海道農業の生産基盤の維持・強化に寄与するため、2021年度から継続的に北海道産農畜産物の消費拡大に向けた取組みを実施しております。

今年度は、消費拡大を通じた持続可能な農業の推進、新たな成長分野への支援、社会貢献をテーマに次のとおり取り組むこととしました。

【当行における今年度消費拡大の取組み(予定)】

- 第1弾:道内児童養護施設への北海道米寄贈 (初回寄贈:11/13、その他:11/18以降)
クリーン農業により生産された「YES!clean」の新米ななつぼし(約1.5トン)を寄贈
- 第2弾:道内児童養護施設への米粉バウムクーヘン寄贈 (12/13~24)
水田の維持への寄与などが期待される米粉(道産)使用のバウムクーヘン(計241箱)を寄贈
- 第3弾:本部7階応接室における北海道産ロングライフ(LL)牛乳、乳飲料の設置 (12/16~1/20)
食品ロス削減を目的に牛乳の消費が落ち込む年末年始にLL牛乳等(約900本)を来訪者へ配布

取組みの第1弾として、道内児童養護施設(23施設)に対して、クリーン農業により生産された YES!clean の新米ななつぼしを寄贈し、子どもたちの健康増進と環境にやさしい農業への理解醸成を図ります。

当行は引き続き、北海道の基幹産業である農業の持続的な発展を通じて、道内経済の発展に貢献してまいります。

1. 初回寄贈時(第1弾:北海道米)の概要

- (1) 日時 2024年11月13日(水)
- (2) 寄贈先 社会福祉法人 岩内厚生園

2. 寄贈の様子



左:北洋銀行岩内中央支店 橋本支店長
右:岩内厚生園 高橋園長



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。